

『Mind Charging』

第 78 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 13 日

ロベルト・バジヨの名言



Only those who have the courage to take a penalty miss them.

PK を外すことができるのは、PK を蹴る勇気を持った者だけだ。

サッカー界で言えば、このコラムでも紹介した『三浦知良選手』と同じ年齢の元サッカー選手です。この言葉が生まれるきっかけとなったエピソードがあって、サッカーファンの人は知っているかもしれませんが。よかったら調べてみてください。

イタリアの代表として試合で活躍した彼が言うPKとは、何万人もの観客が詰めかけたスタジアムで、全世界にテレビなどによるライブ配信がされている試合中に全てのプレーを止めて行うわけですから、何億人もの人の目が自分だけに注がれているという、想像を絶するようなプレッシャーとして襲いかかっているはずで、世界レベルのトップアスリートでも、なかなかそのプレッシャーに打ち勝つことは容易ではないと思います。

プレッシャーの感じ方については人それぞれであり、比較できるものではありません。ワールドカップで堂々と活躍するような人は、サッカー以外のことにも一切プレッシャーを感じないということはないはずですし、“自分なら問題ない”ということに対してプレッシャーを感じている人を弱いと決めつけることはできません。また、一度クリアしたものに対してもプレッシャーを感じることはあります。彼も何本ものPKを蹴ってきたと思いますが、1本ずつ思いは違ったのではないのでしょうか。

みなさんは今後、様々な挑戦をすることになると思います。そして、成功も失敗も経験すると思います。気持ちに違いがあるものの、成功も失敗も『出た結果』という意味では同じです。結果という景色は挑戦した者にだけ見ることが許される特権です。勇気を持って新しい景色をたくさん見てみたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ロベルト・バジヨ(Roberto Baggio、1967年2月18日 -)は、イタリア・ヴェネト州ヴィチエンツァ県カルドーニョ出身のサッカー選手。バジジョ、バジジョと表記することも。1993年度欧州年間最優秀選手、1993年度FIFA世界年間最優秀選手。03-04シーズンで現役引退。セリエA通算205ゴールは歴代5位。キャリア318ゴールはイタリア人No.3である。使用スパイクはデビューから引退までディアドラ。1999年、イタリア代表での試合など一時期のみkappaを使用。(Wikipedia参照)